

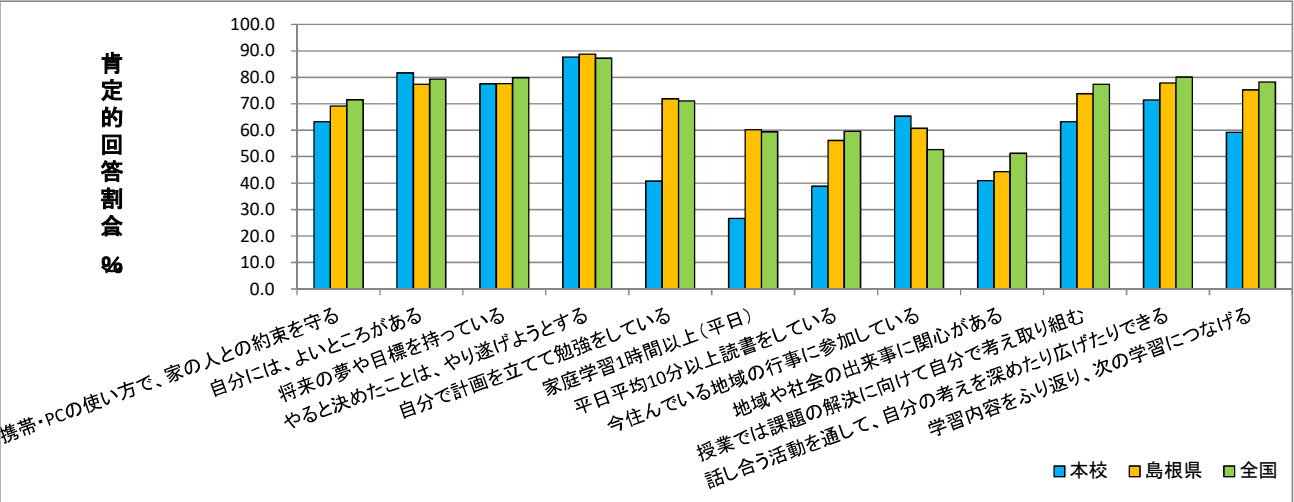
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字の書き取りがよくできている。 ●登場人物の関係について描写を基に捉えることが苦手である。 ●話し合いにおいて、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることが苦手である。	・継続的な読書活動をさらに豊かにできるようにする。 ・新聞記事を読み、感想や意見を書く活動を継続する。 ・授業の中で、ペアやグループでの話し合い活動を重視し、話し合い活動を通して読みを深める活動を行っていく。
算数	○場面を解釈し、わり算で求めることができる理由を記述することができている。 ○目的に応じてデータの特徴を捉え、考察することができている。 ●百分率で表された割合を分数で表すことが苦手である。 ●正三角形をかくためのプログラミングにおいて、角の大きさを回転の大きさとして捉えるという理解が必ずしも十分ではない。	・自分の考えをもち、それを表現する場を設定する。 ・解決の方法を記述したり説明したりする活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」につなげる。 ・学年間の学習内容の系統性を意識した指導を行っていく。
理科	○体積を測るための実験器具の名称や扱い方について理解している。 ○観察で得た結果を基に問題に対する自分の考えをもつことができている。 ●実験で得た結果について自分の考えをもち、その内容を記述することが苦手である。 ●単元としては、水溶液の性質に関する内容、昆虫の生育に関する内容の理解が必ずしも十分でない。	・10分学習の時間等を利用し、既習内容の復習を行う。 ・授業の中で、実験結果について考察する活動や、それを文章でまとめる活動をこれまで以上に重視し行っていく。

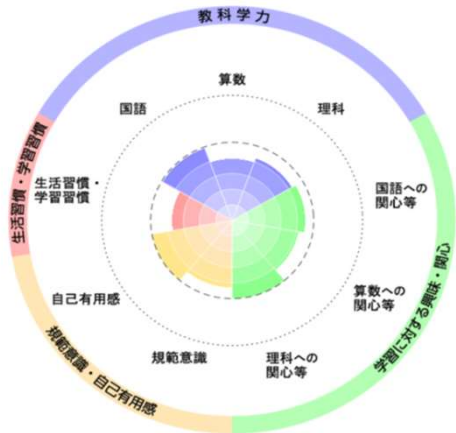
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○地域の行事に進んで参加している児童が多い。 ○自分にはよいところがあると肯定的にとらえている児童が多い。 ●平日の家庭学習や読書への取組に課題がある。 ●授業における課題解決に取り組む学習意欲に課題がある。	・家庭学習への取り組み方や出し方等について実態把握を行い、改善を図る。 ・授業において、解決したくなる課題の設定や児童が自らの学びの深まりを実感し、次の学習への意欲をもてるような授業への転換を図る。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を校内研究として推進していく。

【受検者数】
49 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。